

今週（5月18日から5月22日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

無担保コールO/N物については、先週からの強い調達ニーズが継続し、出会いの水準は0.725%~0.728%が中心となった。加重平均レートは、18日(月)から20日(水)にかけては試し取り要因から0.728%で推移。翌21日(木)には同要因が剥落したことで0.727%へ低下し、22日(金)も概ね同水準での取引となった。

ターム物については、1か月以内の短いゾーンでの引き合いが散見された。1週間程度の中では日銀付利金利を下回る水準での引き合いも見受けられた一方、より長いゾーンでは、6月の金融政策決定会合を意識したレート水準の切り上げも確認された。

日銀当座預金については、週初は453兆円程度でスタートした。その後は国債の発行などを背景に減少へ転じ、20日(水)には450兆円程度まで落ち込んだものの、週末は451兆円台での着地が見込まれている。

●債券レポ市場

債券レポ市場 GC T/N物の出会い水準は、0.75~0.76%で推移した。参加者のしっかりとしたオファー姿勢が見られ、一週間を通して高めのレートで安定した推移となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y470~484回、5Y170~184回、10Y360~382回、20Y180~196回、30Y70~89回、40Y13~18回などで引合いが多く見られた。

●短国市場

短国市場は、6月利上げを織り込んでレート水準が調整される展開となった。

19日(火)に実施された1年物入札は無難な結果となり、セカンダリー市場でも堅調に推移した。また、22日(金)の3か月物入札は事前予想対比で強い結果となり、こちらもセカンダリーで堅調な地合いを維持した。

●CP市場

CP市場は、小売業、電気・ガス業、精密機器など、複数の業種で大型発行が見られた。

市場残高は24兆円台前半となり、先週末比で3,000億円程度の増加となった。

発行レートは0.75%以上で推移したものの、銘柄や投資家の運用スタンスによって目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/18 (月)	60,815.95	2.740	158.95	0.728	0.755	4,533,300
5/19 (火)	60,550.59	2.800	158.99	0.728	0.755	4,498,900
5/20 (水)	59,804.41	2.785	159.00	0.728	0.755	4,503,200
5/21 (木)	61,684.14	2.760	158.87	0.727	0.755	4,495,900
5/22 (金)	63,339.07	2.760	159.05	0.726	0.755	4,514,200

翌週（5月25日から5月29日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
5/25 (月)	3月のサービス産業動態統計速報(総務省 8:30)		GX5Y物 5/26発行 2,500億円	New York祝日(Memorial Day) London祝日(Spring Bank Holiday)
5/26 (火)	3月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)			5月の米CB消費者信頼感指数 3月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数
5/27 (水)	4月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)		40Y物 5/28発行 3,000億円	
5/28 (木)				1-3月期の米GDP改定値 4月の米個人消費・所得支出(PCE) 4月の米新規販売件数 4月の米耐久財受注
5/29 (金)	4月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 5月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 4月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 4月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 4月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 5月の消費動向調査(内閣府 14:00)	TDB3M 6/1発行 44,000億円	2Y物 6/1発行 28,000億円	5月のシカゴPM景況感指数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/25 (月) 日銀予想	500	2,400	2,900	国債補完 社債等買入	2,200 ▲ 400		1,800	4,700	TB3M発行▲44,000償還47,000 流動性供給▲6,500 国有林野借入▲411 期日640
5/26 (火) 弊社予想	1,000	▲ 2,500	▲ 1,500				0	▲ 1,500	GX5Y発行▲2,500
5/27 (水) 弊社予想	1,000	8,000	9,000	共通担保	▲ 8,000		▲ 8,000	1,000	交付税借入▲11,000償還13,000
5/28 (木) 弊社予想	500	▲ 8,000	▲ 7,500				0	▲ 7,500	40Y発行▲3,000
5/29 (金) 弊社予想	1,500	▲ 12,500	▲ 11,000				0	▲ 11,000	交付税借入▲11,000償還13,000

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き堅調な資金調達ニーズが見込まれ、月末週となるが概ね0.727%程度での推移が予想される。債券レポ GC T/N物のレートは、0.745~0.76%のレンジで推移することが予想される。短国市場は、29日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、5/27に月末発行集中日が予定されており、動向が注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では26日(火)に3月の景気動向指数改訂状況、27(水)に4月の企業向けサービス価格指数、29日(金)に4月の完全失業率・有効求人倍率、4月の鉱工業生産・出荷・在庫速報、5月の消費動向調査などが公表予定である。海外では26日(火)に、3月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数、28日(木)に1-3月期の米GDP改定値、4月の米個人消費・所得支出(PCE)、4月の米新規販売件数、4月の米耐久財受注、29日(金)に5月のシカゴPM景況感指数などが公表予定である。

(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。)

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。